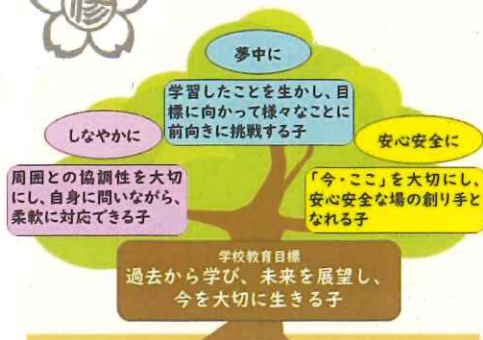




たくさんの「笑顔」「夢」「ありがとう」が集まる学校

令和7年 7月7日
京都市立修学院小学校
校長 鎌田 賢二



校長室だより「こころ」NO.35

挨拶の前提となるものは？

前号では当事者性の話に触れていたのですが、最近ズーム（Zoom）で他府県の方ともつながることが多くこの話題は常に話されているところです。教育や子育てに限らず、この当事者性というのは教職員や大人にとっても必要なことだと実感しています。

さて、「当事者性につながる第一歩はなんでしょう」という質問がきたときになんと答えるのでしょうか。最も簡単なのは「挨拶」ではないかと思うのです。NO.23に詳しくは書いているのですが挨拶は一挨拶一挨拶と言って「挨拶…心に近づく」「挨拶…心を開く」という意味だそうです。当事者性をもつには、相手に寄り添って関心をもつところから始まりそうです。また、コミュニケーション能力を高めるということから色々なことに取り組んでいるのですが、その前提となるのもやはりはじめは挨拶です。私自身も住んでいるところでエレベータや駐車場の待ち時間に会う方に挨拶をしています。毎日挨拶していると会話が少しずつ展開され、他職の方が多いのですが話す中で、年上年下関係なく見識が広がっていくという面白い経験もしています。

そんな挨拶の話ですが、アメリカなどで使われる“Good-bye”にはどんな意味が込められているかご存じでしょうか？“Good-bye”は“God be with you.”と言って「神様があなたのそばで見守っていますよ」という言葉が形を変えてこのようになったと聞いています。素敵ですね。では、日本の挨拶の「さようなら」は…あまり考えたことはないですね。これ実は一つで意味をなさないので。「こんにちわ」とセットなのです。アメリカは神様を介しての挨拶ですが日本は太陽という「自然」を介した挨拶になっているようです。「こんにちわ」は太陽のことを「こんにちさん」と呼んでいたようで、「こんにちわ、ご機嫌いかがですか？」というように話していたようです。そして相手が「もちろん今日もご機嫌ですよ」と返してくるのを聞いてから「さようなら（左様ならば＝そうであるならば）ご機嫌よう。」と言って別れていたということです。自然を真ん中に挨拶をすることと言えば「いただきます」も「命をいただく」ですね。こんなことを綴っていると挨拶の前提も見えてきました。「この子挨拶できないなあ」と思っている飛んでいる鳥、道端に咲いている花や比叡山、近くを流れる音羽川など自然に対して関心があれば挨拶で大事にしたい前提（自然を介すること）はもっています。そう考えると「挨拶はできない」のではなくただ「苦手」なだけでと捉え直すことができればゆっくりできるように周りの大人が育てていくことはできるはずです。（もちろん自らの挨拶も大事です）

子どもたちの元気な挨拶の声が響き渡り、5年後、10年後には今大切にされている非認知能力が自然を介して「自然」に育まれている姿を想像して進んでいけたらと思います。



自然を介して子どもたちとどんな会話ができますか？



たくさんの「ありがとう」と「笑顔」が集まる学校

令和6年9月3日
京都市立修学院小学校
校長 鎌田 賢二



校長室だより「こころ」NO.23

あいさつ（挨拶）について

元気な子どもたちの声が学校に戻ってきました。熱中症に気をつけながらの1週間でしたが、暑さにも慣れてきたのか外で元気に遊ぶ姿も見られます。すぐに適応してしまうところは子どものすごいところだなと感心しています。そんな中ですが、見守り隊の方とも色々とお話をさせていただく中で気になることを伺いました。夏休み明けから少し挨拶が減っているような気がするとのこと。子どもと一緒に登校する保護者の方も「ほら挨拶しなさい」「挨拶ぐらいしなさいよ」とおっしゃる方もいれば、自ら挨拶しながら子どもに見せて子どもも挨拶するパターンなど色々あるのですがいずれも「挨拶はした方がいい。」という思いをもってやってくださっているのだらうと思います。

では、なぜ「挨拶はした方がいい」のでしょうか。

これについても様々なご意見があろうかと思います。「コミュニケーションのはじまりだから」「相手が気持ち良くなるから」「挨拶した方も気持ち良くなるから」「笑顔がうまれるから」「自分のことを覚えてもらえるから」など様々です。この理由や意味づけはある意味とても大切なことです。挨拶一つでこれだけの良きことが手に入れられるのならば、挨拶することに意味はあるでしょう。

そもそも「挨拶」という漢字は他ではあまり使うことがないのですが、もともとは禅語で「一挨一拶（いちあいいちさつ）」と言っていたそうです。「挨（あい）」というのは、「心を開く」という意味で、「拶（さつ）」は「心に近づく」ということなのだそうです。要するに挨拶することによって自身は「自分の心を開き、相手に寄り添う」そして相手は「そんな自分に近づこうとしている」ということになりますね。まさしく意味づけの通りの出来事を引き寄せるようになります。漢字の意味をたどってみると面白いことに気づきます。さらに朝の挨拶は「おはようございます」ですね。なぜそのような言葉をつかっているのでしょうか。なぜ朝だけ「ございます」と丁寧と言っているのでしょうか。これについてもいろいろとわかることがありそうですね。挨拶には「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」「さようなら」など様々な言葉があります。その意味についても考えることで礼儀の大切さや日本の文化がみえてくるかもしれません。

挨拶することが苦手な子もいるかもしれませんが、せめて家庭では挨拶からスタートして「心を開き」「心に近づく」ことをしていただきたいです。そういった挨拶の連鎖が修学院地域をよりよくすることにつながるのではないかと大きく考えています。

みんなの挨拶で得られる素敵なことはどんなことですか？